

リリムジカは「心をこめた音楽」という意味。「介護と音楽」をテーマに役に立つ情報をまごころこめてお届けします。

楽器の選び方 (生活に音楽を取り入れる効果 その4 続き)

前号の通信で、歌の時間に楽器を使うメリットは「曲の雰囲気良くなること」と「参加できる方法が広がること」だと書きました。では実際にどのような楽器を選ぶと良いのでしょうか。楽器を選ぶ際の基準には音色、扱いやすさ、コストパフォーマンスがあります。

まず音色について、歌う曲との相性と音そのものの良さが大事です。カタログでめばしい楽器を見つけたら、購入前に動画サイトで検索してみましょう。その楽器の動画が見つかることがあります。次に、楽器は歌の時間に参加される方の体の動きに合うものを選びたいです。



拘縮のある方の手に入れられるよう、タオルを巻いた鳴子

たとえば体を大きく動かすことの難しい方には、揺らすだけで音が出る鈴がおすすめです。左の写真のように、既存の楽器をカスタマイズするのも一案。最後にコストパフォーマンスについて。最初に楽器をたくさん揃えると、よく使うものとそうでないもの分かれがちです。楽器は少しずつ増やしていくと失敗が少ないでしょう。次号では実際にどうやって楽器を使うかについて解説します。

リリムジカ通信のバックナンバーはホームページをご覧ください♪

Q&Aコーナー

皆さんで歌っていると、だんだん拍子がずれてしまいます・・・

利用者さんと一緒に歌っていると、だんだん拍子がずれて最後にはバラバラになってしまう。それが原因でいさかいで楽しめなくなる。こういった悩みをよく聞きます。拍子がずれてしまう原因の多くは、実は「休符を待てないこと」です。先へ先へ歌う方と、楽譜どおり歌う方との間でずれが生じるのです。修正しようと「〇〇さん早いですよ」と指摘すると楽しさが半減してしまいます。かわりに手拍子や歌詞指しをしてはいかががでしょうか。自然にずれを軽減できますよ。

うさ子の奮闘記 第6話
「なんでも試そう!」



カラオケセットがある施設が増えてきました



私はいいわ

マイクを向けると遠慮される方もいます

瀬戸は日暮れて・・・



キレイな声!

ときには楽しめます

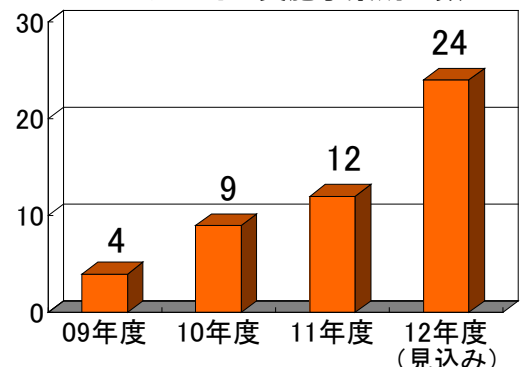


先入観なくいろいろなものを試してみたいです

音楽の場づくりに伺える地域が広がっていきます!

現在リリムジカで音楽の場づくり(セッション)を担っているのは柴田と梅田の2名です。より多くの介護の現場で「誰もが心地よく楽しめる音楽の場」をつくれたらと考え、私たちは今年の秋から新しいミュージックファシリテーター候補者への実習に取り組みます。まずは9月以降、2名の候補者が実習に入る予定です。共に切磋琢磨して心技を高めて参ります。

セッション実施事業所の数



ホームページは「リリムジカ」で検索

TEL : 042-446-8994 FAX : 050-3737-5503 MAIL : info@liry musica.co.jp

※本通信がご不要の方は、恐れ入りますがお電話やファックス、メールにてご一報ください。